

事業報告

〔自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日〕

I 会社の現況に関する事項

1 事業の経過及びその成果

国内経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株による急速な感染拡大により年間を通し緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の感染対策が講じられている中で、社会経済活動を進めてきており、景気は依然として厳しい状況にあります。

我が国のライブ・エンターテインメント市場は、コロナ禍の長期化の影響を受けながらも、規模の制限、感染症予防対策を講じながらイベントを開催し、徐々に回復の兆しが見えています。

このような中、当ホールの令和3年度の経営状況は、年度内に2回の緊急事態宣言が発出されましたが、5月のイベントが中止された程度で収まり、感染症対策や施設の安全管理に努めながら、その後は人数制限があるものの順調にイベントが開催され、昨年度と比べると、大幅に改善されました。

アリーナの稼働日数は223日(本番日数137日)、稼働率72.6%となり、前事業年度の稼働日数98日(本番日数65日)、稼働率26.8%から大幅に上回りました。事業収入も15億7百万円と、前事業年度(5億55百万円)に比し大幅な増収となり、これに広告収入等の関連事業収入55百万円(前事業年度47百万円)を加えた総売上高は15億63百万円と、前事業年度(6億3百万円)に比し159.1%の増となりました。

一方、売上原価は、稼働日数の増加に伴う催物運営委託費等の増加により、10億83百万円と前事業年度9億38百万円より上回り、販売費及び一般管理費の1億円と合わせた経費合計は11億83百万円と、前事業年度(10億28百万円)に比し15.1%上回りました。

この結果、当事業年度の営業利益は3億79百万円となり、法人税等を差し引いた当期純利益は2億62百万円となりました。